

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成20年8月14日 (2008.8.14)

【公表番号】特表2007-516278(P2007-516278A)

【公表日】平成19年6月21日 (2007.6.21)

【年通号数】公開・登録公報2007-023

【出願番号】特願2006-546881(P2006-546881)

【国際特許分類】

C 0 7 D 209/14 (2006.01)

C 0 7 D 401/12 (2006.01)

C 0 7 D 211/22 (2006.01)

C 0 7 D 211/26 (2006.01)

C 0 7 D 498/04 (2006.01)

C 0 7 D 405/12 (2006.01)

A 6 1 K 31/454 (2006.01)

A 6 1 K 31/445 (2006.01)

A 6 1 K 31/661 (2006.01)

A 6 1 K 31/5365 (2006.01)

A 6 1 K 31/453 (2006.01)

A 6 1 K 31/4045 (2006.01)

A 6 1 P 9/00 (2006.01)

A 6 1 P 1/00 (2006.01)

A 6 1 P 13/02 (2006.01)

A 6 1 P 9/06 (2006.01)

A 6 1 P 7/02 (2006.01)

A 6 1 P 1/08 (2006.01)

A 6 1 P 31/18 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 1/18 (2006.01)

C 0 7 F 9/59 (2006.01)

C 0 7 F 9/6561 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 D 209/14 C S P

C 0 7 D 401/12

C 0 7 D 211/22

C 0 7 D 211/26

C 0 7 D 498/04 1 1 2 Q

C 0 7 D 405/12

A 6 1 K 31/454

A 6 1 K 31/445

A 6 1 K 31/661

A 6 1 K 31/5365

A 6 1 K 31/453

A 6 1 K 31/4045

A 6 1 P 9/00

A 6 1 P 1/00

A 6 1 P 13/02

A 6 1 P 9/06

A 6 1 P 7/02

A 6 1 P 1/08
A 6 1 P 31/18
A 6 1 P 35/00
A 6 1 P 1/18
C 0 7 F 9/59
C 0 7 F 9/6561 Z

【手続補正書】

【提出日】平成20年6月24日(2008.6.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

米国特許第 6 , 5 5 2 , 0 4 6 号は、酸性基が塩基性窒素に近接している部分を伴うシサブリドのピペリジニル窒素の修飾を開示する。更に、シサブリドが CNS 副作用を有することが認識されているにも関わらず、これは、エステラーゼによるエステル分解が原因のチトクロム P - 4 5 0 を回避する目的のために、シサブリドをエステル部分で修飾する。最も顕著には、米国特許第 6 , 5 5 2 , 0 4 6 号は、シサブリドが中枢神経系に侵入し、そして 5 - H T₄ 受容体に結合することを認め、シサブリドが中枢的に媒介された効果を有することが示されている。更に米国特許第 6 , 5 5 2 , 0 4 6 号の化合物は、1) 認知障害、制限することなくアルツハイマー病を含む；2) 行動障害、制限することなく統合失調症、躁病、強迫性障害、及び精神賦活性物質使用障害を含む；3) 気分障害、制限することなく鬱及び不安を含む；及び 4) 自律神経機能の制御の疾患、制限することなく本態性高血圧、及び睡眠障害を含む、の治療において使用することができることを述べている。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 0】

米国特許第 2 0 0 1 / 0 0 3 1 7 5 1 号は、新規な 5 - H T₄ アンタゴニストを供するが、CNS 局在受容体と末梢局在受容体を区別することは探求せず、従って CNS と消化器又は循環器の障害の両方においてこれらの使用を意図する。特に、当該発明の態様は酸性部分を含まない。米国特許第 2 0 0 1 / 0 0 3 1 7 5 1 号の各態様は、本発明に従う酸性部分での修飾のための適当な基質である。